



山田こうじです！

2020年2月23日

NO.230

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

補助金活用で商売繁盛！京商連青年部学習会



2月10日に京商連青年部主催の「助成金学習会」で講師をさせて頂きました。国の制度である、小規模事業者持続化補助金は、これまでが成長産業を指定して支援する方式でしたが、今ではすべての事業者を対象にした補助金制度になりました。補助金拡充の要求と運動の成果です。

補助金申請の書類を作ることで経営の見直しができたと好評です。

各民商で補助金を獲得した経験の報告を受け、京都市の制度を紹介しました。京都市の事業者向け補助制度は、11種類のメニューがあります。京都市企業立地促進制度補助金は、1000万円以上の生産設備取得の条件や、京都型グローバル・ニッチ・トップ企業育成補助金等、新規創業やベンチャー、大企業ばかりです。

京都経済を支え、地域の住民の暮らしを支えている、まちの小売業者や飲食店、町工場をまるごと支援してこそ、京都経済を活性化させることが出来ます。

横浜市の中企業設備等助成制度は、中小企業者が生産性の向上のために行う設備投資等に対し、経費の一部を助成しています。高崎市では、商店リニューアル助成制度では、店舗改装や備品購入の2分の1を助成しています。

住宅リフォーム助成制度は経済効果抜群と多くの自治体で好評です。京都市でも、制度の実施を求めます。

8月6日の朝は、雲ひとつない穏やかな時間が、猛烈な爆音のもて一変。弟と二人は、倒壊した家の中、母が覆いかぶさってくれ、母の背中には、飛び散った窓ガラスの破片が突き刺さり血だらけだったそうです。

大怪我を負った母は大声で「勲を連れて早く逃げなさい。お姉ちゃんも」

小林愛子さんは、小学校1年制の時、広島島の爆心地から1.5キロの自宅で、当時5歳だった弟の元プロ野球選手の張本勲さんと被爆した当時の体験を話されました。

行方が分からなくなっていた、大好きで優しい姉を弟と何日も探し回り、救護所で全身やけどで変わり果てた姉に再会した時の、悲しさを話され、「子供たちの未来のために核兵器はいらない」と、ヒバクシャ国際署名を掲げてくださいと訴えられました。

被爆75年 被爆体験を元プロ野球選手・張本勲さんのお姉さんが語る



「じゅん」の皆さんももらい泣き。二人の人柄がにじむ、素敵なお時でした。

二人の感謝の言葉に、戒光寺で結婚式。夜の食事会は、西院の「家庭料理じゅん」さんで。結婚式に参列した、マッドさんのお母さんと妹さん。二人の台湾の友人や、大阪から父や妹、姪っ子の家族も祝いに駆けつけていただきました。

まいとおおきに
山田こうじです！
NO.224

私事で恐縮ですが、私の選挙の時、アナウンサーで頑張ってくれる、娘の咲が結婚しました。

相手の方、オーストラリア人のマッドさんは、一つ年下の学生さん。将来は警察官志望だそうです。オーストラリアの警察は、日本の警察とはだいぶイメージが違うようです。実にやさしい男性で、ラブラブの二人を見てみると、本当に微笑ましい。